

○【1】血糖値を下げる作用を持つものはどれか、1つ選べ。

- ① グルカゴン
- ② インスリン
- ③ アドレナリン
- ④ 成長ホルモン
- ⑤ オオタニサン

○【2】重症低血糖で意識が無い時、院外で皮下注射・点鼻を行うのはどれか、1つ選べ。

- ① グルカゴン
- ② インスリン
- ③ アドレナリン
- ④ 成長ホルモン
- ⑤ イッペイサン

○【3】1型糖尿病の特徴について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 2型糖尿病より遺伝性が高い。
- ② 全ての糖尿病の5割を占める。
- ③ 血液検査で、GAD抗体が高値になることが多い。
- ④ 薬物治療では、必ずインスリン注射を使用する。
- ⑤ 体調不良で食事が摂れない時は、インスリン注射をすべて中止する。

○【4】2型糖尿病の特徴について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 1型糖尿病より遺伝性が高い。
- ② 全ての糖尿病の5割を占める。
- ③ 睡眠不足やストレスが発症に関与する。
- ④ 治療薬で完治できる。
- ⑤ 自覚症状が現れやすい。

○【5】2型糖尿病の治療について、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① 全例で、すぐに薬物療法を開始する。
- ② 食事療法のカロリーは、標準体重×25~40で計算する。
- ③ 65歳以上の患者では、カロリーを標準より多めに設定する。
- ④ 65歳以上で高度の認知症がある患者でも、厳格な血糖管理を行う。
- ⑤ 運動をすると、インスリン抵抗性が改善する。

○【6】糖尿病治療薬の中で、重症な低血糖を起こしうる薬剤はどれか、2つ選べ

- ① SU薬
- ② インスリン注射
- ③ SGLT-2阻害薬
- ④ ビグアナイド薬
- ⑤ αグルコシダーゼ阻害薬

○【7】糖尿病の慢性合併症について正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 神経症のしびれ感は、左足の足先や足底から出現することが多い。
- ② 網膜症は、糖尿病発症直後から出現することが多い。
- ③ 腎症は、日本の透析導入の原疾患で第1位である。
- ④ 足病変予防のためには、フットケア教育が重要である。
- ⑤ 虚血性心疾患は、比較的早期に発見されやすい。

神経症の症状は  
右側の足先や足底から  
出現する事が多い。

○【8】糖尿病の急性合併症について誤っているものはどれか、1つ選べ

- ① 低血糖の症状は、空腹感・冷や汗・震え・動悸が特徴的である。
- ② 低血糖で意識があるときは、まず糖質を含むものを食べさせる。
- ③ ケトアシドーシスの時は、インスリンを静脈内に投与する。
- ④ 高血糖高浸透圧状態は、高齢者に起こることが多い。
- ⑤ シックデイの際は、治療薬をすべて中止する。

○【9】肥満とメタボリックシンドロームについて誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① 皮下脂肪より内臓脂肪の方が、糖・脂質代謝に悪影響を及ぼす。
- ② 内臓脂肪より皮下脂肪の方が、糖・脂質代謝に悪影響を及ぼす。
- ③ BMI(体格指数)が25を超えると、肥満と判定する。
- ④ BMI(体格指数)が25を超えると、メタボリックシンドロームと判定する。
- ⑤ メタボリックシンドロームと判定されると、特定保健指導の対象となる。

○【10】脂質異常症について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 糖質の過剰摂取は、中性脂肪を増加させる。
- ② アルコールの過剰摂取は、中性脂肪を増加させる。
- ③ 肉などに含まれる飽和脂肪酸の過剰摂取は、LDL-Cを増加させる。
- ④ LDL-Cの高値が続くと、動脈硬化が進行する。
- ⑤ HDL-Cの高値が続くと、動脈硬化が進行する。

30

(谷口先生)

日南看護専門学校 疾病論2 (代謝疾患): 試験問題

【1】血糖値を下げる作用を持つものはどれか、1つ選べ。

- ① グルカゴン
- ② インスリン
- ③ アドレナリン
- ④ 成長ホルモン
- ⑤ オオタニサン

【2】重症低血糖で意識が無い時、院外で皮下注射・点鼻を行うのはどれか。1つ選べ。

- ① グルカゴン
- ② インスリン
- ③ アドレナリン
- ④ 成長ホルモン
- ⑤ ヌートバー

【3】1型糖尿病の特徴について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 2型糖尿病より遺伝性が高い。×
- ② 全ての糖尿病の5割を占める。✓
- ③ 血液検査で、GAD抗体が高値になることが多い。○
- ④ 薬物治療では、必ずインスリン注射を使用する。○
- ⑤ 体調不良で食事が摂れない時は、インスリン注射をすべて中止する。×

【4】2型糖尿病の特徴について、正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 1型糖尿病より遺伝性が高い。○
- ② 全ての糖尿病の5割を占める。✓
- ③ 治療薬で完治できる。×
- ④ 自覚症状が現れやすい。×
- ⑤ 睡眠不足やストレスが発症に関与する。○

【5】1回の検査で2型糖尿病と確定診断できるものはどれか、1つ選べ。

- ① 空腹時血糖値: 126mg/dl、HbA1cは未測定 ×
- ② 空腹時血糖値は未測定、HbA1c: 6.5% ×
- ③ 空腹時血糖値: 126mg/dl、HbA1c: 6.5% ○
- ④ 1回の検査では確定診断できない ×

【6】2型糖尿病の治療について、誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① 全例で、すぐに薬物療法を開始する。×
- ② 食事療法のカロリーは、標準体重×25~40で計算する。○
- ③ 65歳以上の患者では、カロリーを標準より多めに設定する。○
- ④ 食品交換表の1単位は160kcalである。○
- ⑤ 有酸素運動・無酸素運動は、いずれも血糖値を下げる。○

日南看護専門学校 疾病論2 (代謝疾患): 試験問題

【7】糖尿病の慢性合併症について正しいものはどれか、2つ選べ。

- ① 神経症の症状は、両側の足先や足底から出現することが多い。○
- ② 網膜症は、糖尿病発症直後から出現することが多い。×
- ③ 腎症は、3大合併症の中で最も早く発症する。×
- ④ 足病変予防のためには、フットケア教育が重要である。○
- ⑤ 虚血性心疾患は、比較的早期に発見されやすい。×

【8】糖尿病の急性合併症について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 低血糖の症状は、空腹感・冷や汗・震え・動悸が特徴的である。○
- ② 低血糖で意識があるときは、まず糖質を含むものを食べさせる。○
- ③ ケトアシドーシスの時は、インスリンを静脈内に投与する。○
- ④ 高血糖高浸透圧症候群は、高齢者に起こることが多い。○
- ⑤ シックデイの際は、治療薬をすべて中止する。×

【9】肥満とメタボリックシンドロームについて誤っているものはどれか、2つ選べ。

- ① 皮下脂肪より内臓脂肪の方が、糖・脂質代謝に悪影響を及ぼす。○
- ② 内臓脂肪より皮下脂肪の方が、糖・脂質代謝に悪影響を及ぼす。×
- ③ BMI (体格指数) が25を超えると、肥満と判定する。○
- ④ BMI (体格指数) が25を超えると、メタボリックシンドロームと判定する。×
- ⑤ メタボリックシンドロームと判定されると、特定保健指導の対象となる。○

【10】脂質異常症について誤っているものはどれか、1つ選べ。

- ① 糖質の過剰摂取は、中性脂肪を増加させる。○
- ② アルコールの過剰は、中性脂肪を増加させる。○
- ③ 肉などに含まれる飽和脂肪酸の過剰摂取は、LDL-Cを増加させる。○
- ④ LDL-Cの高値が続くと、動脈硬化が進行する。○
- ⑤ HDL-Cの高値が続くと、動脈硬化が進行する。×